



八王子地域合同学園祭 「第12回 学生天国」

報告

2017/05/14

学生の地域活動紹介 in JR八王子駅前通り

5月14日（日）、八王子市が主催する八王子地域合同学園祭「第12回学生天国」にて、「地域ボランティアプログラム」と「みなみおおさまカフェ」の活動報告を行いました。

八王子市に設置されている大学の学生たちが集まってつくられるこのイベントでは、本センターのようなボランティア活動紹介の他にも、書道展、化粧品作成体験、合唱や太鼓の演奏など、様々な催しが行われ、大変盛り上がりました。首都大学東京からも、「応援団」やジャグリングサークル「Team "Lamp"」、アカペラサークルの「das Lied」が参加し、日々の練習で培った力を発揮していました。

私たちは、地域活動の発表を行うブースにて、パネル展示と口頭発表を行いました。

・パネル展示による活動報告

パネル展示は、活動の様子が伝わる写真と説明文を掲載。来場した方にパネルを見ていただきながら、より詳細な説明をしたり、質問・疑問にお答えするなどしました。通りかかった方々が興味深げに眺めてくれ、「これはどういった活動なのか」「どうして竹を切っているのか」「このカフェに行きたい」といった声をかけていただきました。地域の方々からは大変鋭い指摘や質問も投げかけられ、私たちが、活動への思いや考えを改めて深める、大変有意義な時間となりました。

パネル展では約40人の方々が私たちの話を聞いてくださり、設置していたニュースレターやチラシ等を持っていってくれました。

・「みなみおおさまカフェ」の発表

13時からの口頭発表は、「みなみおおさまカフェ」を運営する「&TMU」のコアスタッフ

である大学院生が担当してくれました。発表では、「みなみおおさまカフェ」の設立経緯やコミュニティカフェとは何か、なぜ「みなみおおさまカフェ」のような活動が南大沢地域で必要なのか、などについて説明がありました。自分たちが普段何気なく過ごしている地域で、高齢者が様々な困難に直面していること、そして、その解決に向けて「みなみおおさまカフェ」が取り組んでいることの大切さがよく理解できる発表でした。

・「地域ボランティアプログラム」の発表

「地域ボランティアプログラム」の発表は15時からスタート。昨年度、プログラムに参加してくれていた学生が発表を担当してくれました。「緑から縁を」という言葉をキャッチフレーズに、松木日向緑地や南大沢地域で起こっている問題（生態系の変化や多世代交流の断絶など）や、その解決に向けての取り組み、そして、そうした活動を通じて感じた課題や今後の活動に向けての思いなどを熱く話してくれました。

・まとめ

どちらの発表にも、地域の方々や他大学の学生が聞きに来てくださり、盛り上がりのある発表となりました。また、私たちも他大学の取り組みを聞くことができ、八王子市の発展や課題の解決のために、様々な人がアイデアや力を出し合っていることを改めて実感しました。

同じ八王子市に設置されていても、あまり交流が無かった大学の地域活動を知ることができただけでなく、学生同士の交流もすることができました。活動報告を通して大学をPRすることを目的に参加したイベントでしたが、私たちにとっても非常に学びのあるイベントでした。



発表を担当した学生の声

- ・屋外での発表で少し戸惑いましたが、他大学の学生の方が聞いてくれて、首都大独自のボランティア活動を伝えることができたのではないかと思います。他の大学の取組も知ることができ、参考にしたいと思いました。
- ・活動について質問が出たり、チラシを持って帰ってくださる方がいらついたり、地域の方と直接顔を合わせてお話でき、大変嬉しかったです。今後、南大沢地域の方はもちろん、他の地域の方にもみなみおおさまカフェを知っていただき、多くの方に愛されるようなカフェを目指してがんばりたいです。



ブースの様子（カフェ側）

4枚の大きな板の表裏に写真や説明文のパネルを掲示しました。

手前に大きく映っているのは、みなみおおさまカフェののぼりです。